

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を共同研究機関に提供しています。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 新生児早期における酸塩基平衡の変化

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：久留米大学医学部小児科学講座 講師 木下 正啓

診療情報等の提供先：名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野

【研究分担施設・研究責任者】

名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野 准教授 岩田 欧介

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦2012年12月から西暦2015年12月までの間に受診
- 2) 対象者：久留米大学病院総合周産期母子医療センター新生児部門に入院した新生児

【診療情報等の項目】

診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、身長、体重、血液ガス分析データ】

授受の方法： 郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

【研究目的】

胎児から新生児へ出生する際に、低酸素や虚血などの病態のため代謝性アシドーシスなど血液や細胞の酸塩基平衡の異常を起こすことが多いです。しかし、出生時の酸塩基平衡の大きな変化に対する胎児および新生児の反応に関する知識は限られています。この研究の目的は、新生児集中治療室に入院した早産および満期産児の生後1週間以内の出生時の酸塩基平衡の調節と影響因子を調査し、これら新生児のpH平衡のメカニズムが解明を目指していくものです。

【研究（利用）期間】

久留米大学倫理委員会承認後から西暦2025年9月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

（本学）研究責任者：久留米大学医学部小児科学講座 講師 木下 正啓

問い合わせ担当者：久留米大学医学部小児科学講座 講師 木下 正啓

電話：0942-35-3311（内線5140）